

2019 年度経済学入門中間テスト正解

問題 1

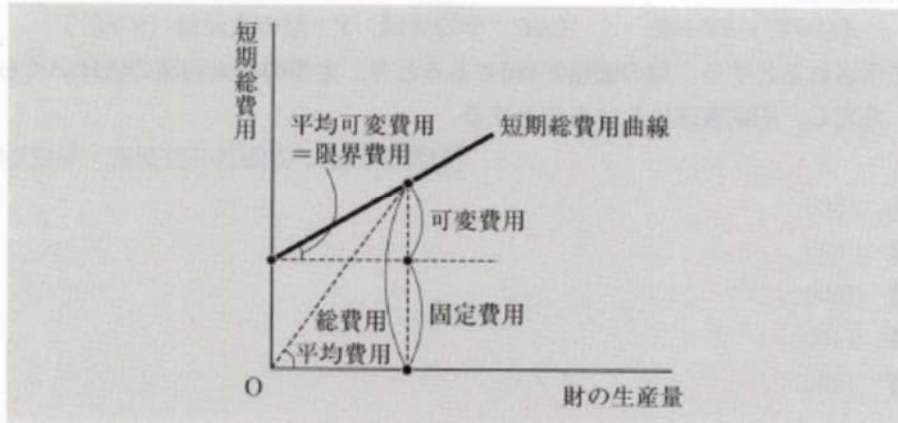
問題	正解	問題	正解	問題	正解
1	2または3	11	2	21	5
2	2	12	2	22	3
3	3	13	1	23	3
4	3	14	2	24	1
5	4	15	2	25	3
6	1	16	4		
7	4	17	1		
8	1	18	1		
9	1	19	2		
10	1	20	4		

(21)

**No.1 の解説** 短期総費用曲線

→問題はP.154

- 1 ×** 平均費用は総費用を生産量で割ったものであり、原点Oと短期総費用曲線上の点を結んだ線分の傾きで示される。したがって、短期総費用曲線が設問の図のような直線のときは、横軸の生産量が0のとき最も平均費用が大きく、生産量が増えるにつれ逓減する。平均可変費用は生産量に応じて変化する可変費用の部分のみを生産量で割ったものであり、縦軸上の切片と短期総費用曲線上の点を結んだ線分の傾きで示される。短期総費用曲線が直線のとき、縦軸上の切片と短期総費用曲線を結んだ線分の傾きである平均可変費用の大きさは常に一定である。
- 2 ×** 限界費用は総費用関数を微分したものであり、短期総費用曲線の接線の傾きで示される。短期総費用曲線が直線のとき、その接線の傾きである限界費用は常に一定である。平均可変費用も常に一定である。
- 3 ×** 限界費用は一定で、平均費用は逓減する。
- 4 ×** 限界費用は短期総費用曲線の接線の傾きであり、短期総費用曲線が直線のとき、限界費用は短期総費用曲線の傾きと一致する。平均費用は原点と短期総費用曲線を結んだ線分の傾きであり、常に限界費用を上回っている。
- 5 ○** 妥当である。短期総費用曲線が設問の図のような直線のとき、その接線の傾きである限界費用は、縦軸の切片から出る線分の傾きである平均可変費用と等しくなる。



(22)

**No.4 の解説** 競争市場における需要と供給

→問題はP.41

- ア**○ 妥当である。競争的な市場（＝取引の場）では多数の売り手と買い手が存在し、その間で情報が行き渡っていることが想定されている。
- 市場で超過需要が発生し需要が供給を上回るモノ不足が生じると、競争的な市場では財の価格を引き上げても買い手がつくと考えて財の価格を引き上げる売り手が出てくる。財の価格が引き上げられると買い手の需要は減るが、この過程が需要と供給が一致し市場が均衡するまで続く。逆に、市場で超過供給が発生し供給が需要を上回るモノ余りが生じると、モノを売り切れない売り手の中で財の価格を引き下げることが出てくる。財の価格が引き下げられると買い手の需要は増えるが、この過程が需要と供給が一致するまで続き、やがて市場は均衡することになる。
- イ**× 妥当でない。上級財は、所得が上昇すると消費量（需要）も増える財である。一般に株価の上昇は所得を増加させるので、自動車が上級財のとき自動車の需要も増大し、自動車市場は超過需要になるため自動車の価格は上昇す

る。

- ウ**× 妥当でない。紅茶の価格が高くなると紅茶の需要は減少する。コーヒーと紅茶が互いに代替的であるとき、紅茶の需要に代わってコーヒーの需要が増大する。すると、コーヒー市場で超過需要が発生し、コーヒーの価格が上昇する。
- エ**○ 妥当である。ハードウェアの価格が低下するとハードウェアの需要は増大する。ハードウェアとソフトウェアが互いに補完的であるとき、ハードウェアの需要が増大するとソフトウェアの需要も増大する。すると、ソフトウェア市場で超過需要が発生し、ソフトウェアの価格は上昇する。

以上から妥当なのは**ア**と**エ**であり、正答は**3**である。

(23)経済学検定試験 2015年7月受験用

自由財は、需要に比べて供給が十分に多くすべての需要を賄えるので、市場において価格がつかず、誰でもただで利用できる。したがって、(3)が正しい。

解 答 (3)

(24)

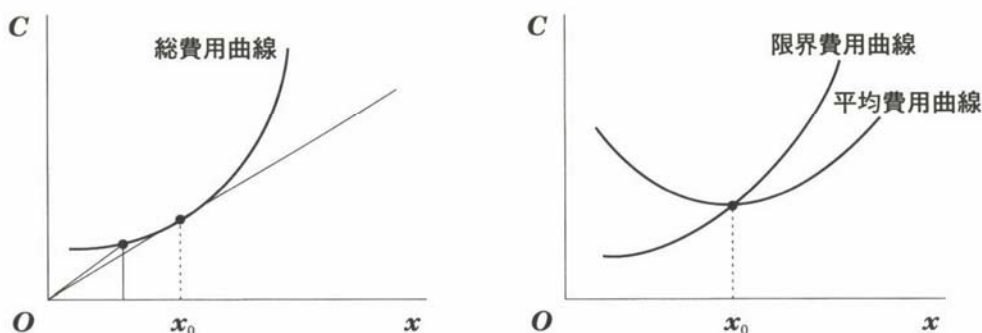
【解答】

正解は(1)。

総費用曲線が下に凸の形で右上がりに描ける場合には、生産量の増加  $\Delta x$

に対する総費用の増加の割合である限界費用  $\Delta TC/\Delta x$  は、生産の増加につれて逡増していくことになる。一方、平均費用  $TC/x$  は、生産量で総費用を割った値であるから、図に示されるように総費用曲線と原点とを結ぶ直線がつくる角度（タンジェント  $\theta$ ）で表される。したがって、生産量  $x_0$  までは生産の増加にしたがって平均費用は低下していくが、 $x_0$  の水準で最低になり、それを超えて生産が増加すると逡増し始める。それゆえ、平均費用曲線はU字型となる。また、下図からわかるように、生産量  $x_0$  では限界費用と平均費用の値は等しくなるが、 $x_0$  を超えると限界費用の方が平均費用よりも大きくなる。したがって、問題の解答は次のようになる。

総費用曲線と平均費用曲線・限界費用曲線



- (1) 限界費用曲線は右上がりの曲線になる。したがって、(1)は誤り。
- (2) 平均費用曲線はU字型になる。したがって、(2)は正しい。
- (3) 総費用曲線の縦軸切片  $OA$  は、固定費である。したがって(3)は正しい。
- (4) 平均費用が最低となる生産量  $y$  を超えると、限界費用は平均費用より大きくなる。したがって、(4)は正しい。

(25)

財の価格を  $P$  とし、右下がりの需要曲線を  $P=a-bX$  とする。ただし、 $a>0$ 、 $b>0$ である。すると、企業の総収入  $R$  は、

$$R=PX=(a-bX)X$$

である。これは、原点を通るうえに凸な放物線であり、グラフは図Cである。

したがって、(3)が正しい。

解答 (3)